

2006年度 理事長：鈴木秀幸

スローガン

新たな歴史のスタートに 挑もう 夢あるまちづくり 創ろう 未来の静岡

基本方針

1. 会員相互の理解、「笑顔と思いやり」の浸透と新たな組織創り
2. 過去の継承と夢のある出発、明確な財務管理と効率と効果を創る
3. 会員、家族の親睦を深め魅力あるLOMの実践と確立
4. 新たなステップにおける静岡JCビジョンの確立と実践
5. 政令市となったまちの新たなビジョンの創造と実践
6. 地域のリーダーの育成とJC運動の向上で新たなLOMの活力を創る
7. 家族の大切さ、子供たちの夢を通し青少年事業を学び実践する
8. 地域交流を通し人とまちを創り、新たなJCの組織力の向上
9. 新たな活動エリアの再認識をし地域の発見と地域交流



初代理事長
鈴木秀幸

所信要約

平成の大合併という時代をチャンスと捕え、新たな静岡青年会議所は全国各地での合併事例の中でも模範となるようなすばらしいLOMを創る義務と責任があります。県都である政令市・静岡市、そこを拠点に活動する静岡JCであることを再認識し、誇りある、理想の『まちづくり』を実践していく組織を創ります。各地域に分かれて活動していたメンバーが、共に一つの組織として手を携えて運動し、感情的な面も含めてサポートして全てのメンバーが頼りあえる組織創りをすすめます。会員同士の友情や助け合いが幅広く、かつ自然に行えるように「納涼祭」や「お別れ会」を開催し、個人個人をより知る事でLOM内の風通しが良くなり、結果として対外的にも大きな事業を展開できる。LOM力の源となるのは人材であり、LOMの成長の為にも拡大活動に対して全メンバーで取り組みます。新たな静岡青年会議所でも地域教育に繋がる青少年育成事業を展開し、「夢を」もてる子供たちが一人でも多く育つことが出来れば、10年後、20年後、明るい未来が創造できます。新たな活動エリアになりメンバーが広範囲に所在することを考え、災害時に対するあらゆることを見なおし、検討し、新たな静岡JCの『危機管理マニュアル』の作成を行います。



- 事業・例会
- 新年例会 例会管理委員会 戸沢玲奈委員長
 - 1月度例会 地域例会 未来の静岡特別委員会 小林阿希良委員長
 - 行政・地域に提言することを目的に活動。
 - 静岡市を7区に区切り、同日同時刻に古くから根付いている寺院で例会を開催。静岡市の活性を考えた。
 - 2月度第一例会 通常総会 事務局
 - 2月度第二例会 拡大例会 会員拡大委員会 廣瀬源人委員長
 - 拡大目標50人に対し、36名を達成（前期19名、後期15名、11月2名）
 - 救命救急講習 危機管理委員会 大多和義勝委員長
 - 3月度第一例会 中部5JC合同例会
 - 3月度第二例会 認証証伝達式 認証証伝達式運営特別委員会
 - 3/29開催、2005年12/3の日本JC理事会で782番目のLOMに承認された新設しずおかJCの認証証伝達式。
 - 2000名以上の招待状の取りまとめ、東海地区内LOMへのPRキャラバンを実施。
 - 静岡青年会議所チャーターメンバーとしての意識づけ
 - とうかい号 次年度主管に向けてPRキャラバン 出向渉外委員会 松本雅博委員長
 - 静岡まつり 子供城下町 まちづくり交流委員会
 - 4月度例会 家族例会 会員心のふれあい委員会
 - 5月度第一例会 地域心発見例会 地域心発見委員会
 - 5月度第二例会 地域ネットワーク例会 (5/20、5/27) 地域ネットワーク委員会
 - 6月度例会 納涼例会 例会運営委員会
 - 7月度例会 『夢』創造例会 前期 『夢』はくむ静岡創造委員会 内田貴典委員長
 - サレジオ学園でJC teacher的な例会
 - 清水みなとまつり
 - 8月度例会 『夢』創造例会 後期 夢探検委員会 赤堀英樹委員長
 - しずおか未来学園
 - 「ヒトや自然を思いやる心」 各講師から貴重な体験談などを聞く
 - 最後の授業：古賀俊彦氏の講演
 - 11月度例会 危機管理例会 危機管理委員会 大多和義勝委員長
 - 2006年度版 危機管理マニュアルに関連した例会
 - 11月度例会 お別れ例会 会員心のふれあい委員会
 - 静岡市民100人からの提言 未来の静岡特別委員会 小林阿希良委員長
 - 市役所と共催で一般市民を公募し、6つの委員会を組織。市民・行政・JCが一体となって提言書を作成。市長に手渡した。
 - 12月度第二例会 クリスマス家族会 例会運営委員会

どんな
一年か

清水・旧静岡・駿河のそれぞれのLOMの歴史や伝統を大切にしながらも、全てゼロベースから創りあげた1年でした。鈴木理事長の所信表明から始まった1月の「新年例会」、多くの来賓に出席頂いた3月の「認証証伝達式」、7月、8月には子供たちに夢を持つことの大切さを伝えた「しずおか未来学園」、2006年度最後の例会である「クリスマス家族会」に至るまで、全ての事業が初めての経験でした。理事会メンバーの中でも初めて会う方がほとんどで、どんな理事会になるのか見当もつかず、またそれぞれの委員会においても同じだったと思います。ほとんどのメンバーが自信よりも圧倒的に不安の方が大きかったのではないのでしょうか。しかし、日を増すごとに少しずつメンバー同士の信頼関係が構築されていきました。青少年事業である「しずおか未来学園」もすばらしい成果を納め地域での信頼も得られ、地域や他団体、行政などいろんな方が新静岡JCに注目している中で、ある程度の御評価を頂いたと感じています。



一月度第一例会



認証証伝達式 祝賀会



未来学園事業



未来学園例会